

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月16日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県四日市市安島2丁目7-15

氏名 三重県企業庁 北勢水道事務所  
 所長 森上 則明

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 059-351-1564

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量  
 その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北勢水道事務所 水沢浄水場
事業場の所在地	〒512-1105 四日市市水沢町西野252-6
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	F36 電気・ガス・熱供給・水道業/ 水道業
② 事業の規模	給水量 12,364,884 m3/年
③ 従業員数	5名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>水道用水の製造にあたり、河川等の原水に含まれる濁質をポリ塩化添加により凝集沈殿させ、その後汚泥処理施設において天日乾燥したものを浄水汚泥として排出しています。</p> <p>①水源(三重用水系牧田川他)→ ②取水口→ ③着水井→ ④攪拌池                  ↓                  ⑧受水市町 ← ⑦浄水池← ⑥ろ過池 ← ⑤薬品沈殿池                  ↓                  ⑪天日乾燥池 ← ⑩濃縮槽 ← ⑨汚泥池 ← 浄水汚泥</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
統括責任者：水道事業課長  
管理責任者：水道事業課 廃棄物担当  
事業責任者：北勢水道事務所長……排出される廃棄物の管理の統括  
廃棄物処理統括責任者：配水運営部水道保全課長、総務経営部経営課長  
……廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認、廃棄物リサイクル契約事項の決定・承認  
廃棄物管理責任者：水道保全課担当  
……廃棄物処理計画の策定、廃棄物管理状況の把握、監督官庁への各種報告  
廃棄物管理担当：水道保全課担当、総務経営部経営課担当  
……廃棄物管理状況の把握、廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握、委託契約の締結

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組) 浄水場から発生する汚泥は、河川水中に浮遊している懸濁物質を凝集沈澱させることで発生するものであり、季節や天候による河川水の濁度変化及び受水市町の水道水の使用状況によって、その状況は変動します。 そのため、排出量の抑制は困難ではありますが、排出された浄水汚泥については、減量化を行い、改良土や園芸用土の材料として有効利用を図っています。	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) 浄水場から発生する汚泥は、河川水中に浮遊している懸濁物質を凝集沈澱させることで発生するものであり、季節や天候による河川水の濁度変化及び受水市町の水道水の使用状況によって、その状況は変動します。 そのため、排出量の抑制は困難ではありますが、引き続き排出された浄水汚泥については、減量化を行い、改良土や園芸用土の材料として有効利用を図ります。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
浄水処理に伴い発生する汚泥に関して、天日乾燥池にて乾燥させ、処理量の減量を行った。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		
浄水処理に伴い発生する汚泥に関して、天日乾燥池にて乾燥させ、処理量の減量を行います。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(これまでに実施した取組)		
水道浄水場から発生する浄水汚泥について、天日乾燥池で中間処理したものについては、改良土の原材料として有効利用しました。		

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(今後実施する予定の取組)	
	水道浄水場から発生する浄水汚泥について、天日乾燥池で中間処理したものについては、改良土の原材料として有効利用します。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7  欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います  
  
 記入不要です

項目		廃棄物の種類 現状/計画	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	合計量	
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	13号廃棄物	建設混合廃棄物	(t)	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																						0	
		今年度目標		13300																					13300
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																						0	
		今年度目標		0																					0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																						0	
		今年度目標		0																					0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																							0
		今年度目標		13000																					
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																						0	
		今年度目標		0																					0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																						0	
		今年度目標		300																					300
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																							0
		今年度目標		0																					0
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																							0
		今年度目標		300																					300
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																							0
		今年度目標		0																					0
⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																							0	
	今年度目標		0																					0	

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の9 別紙2の項目番号です。